

CATを活用することによる 増悪や入院回数への影響

大久保内科呼吸器科クリニック
小山美佐江、長田照子、穂坂真由美、
大久保ひかり、濱利子、森田紋子、
深澤一裕、大久保修一

背景

CAT(COPD Assessment Test)は簡便なQOLの評価ツールである。CATを外来受診毎に記入、振り返る事により、患者のQOLの評価のみではなく、患者自身が体調を把握でき、管理することに有用である可能性が考えられた。

目的

COPDの増悪予防にCATが有用か検討する。

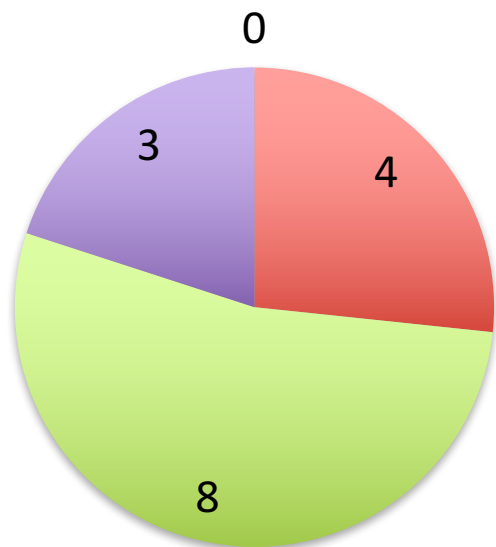
方法と対象

COPDの在宅酸素療法導入患者(HOT群)34人で受診毎にCAT評価を開始する前後の1年間の定期外受診数、入院回数を後ろ向きにカルテで調査した。

同時期にCAT評価を行いカルテ上で状況が確認できる非HOT導入患者(非HOT群)15人についても同様に調査した。(初回のCATが10点以上の患者)

対象患者

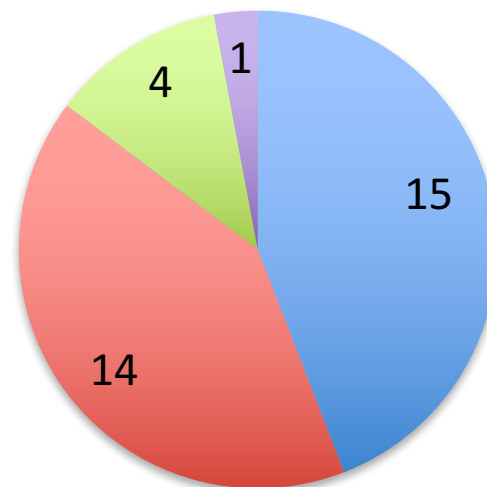
	非HOT群	HOT群	有意差
人数(名)	15	34	—
男:女(名)	13:2	30:4	—
平均年齢(歳)	76.2	77.6	NS
平均喫煙指数	1026.7	1057.8	NS
%1秒量(平均)	59.4%	43.3%	p=0.028



非HOT群

- ステージ4
- ステージ3
- ステージ2
- ステージ1

ステージ分類はCOPD診断と治療のためのガイドライン第4版による



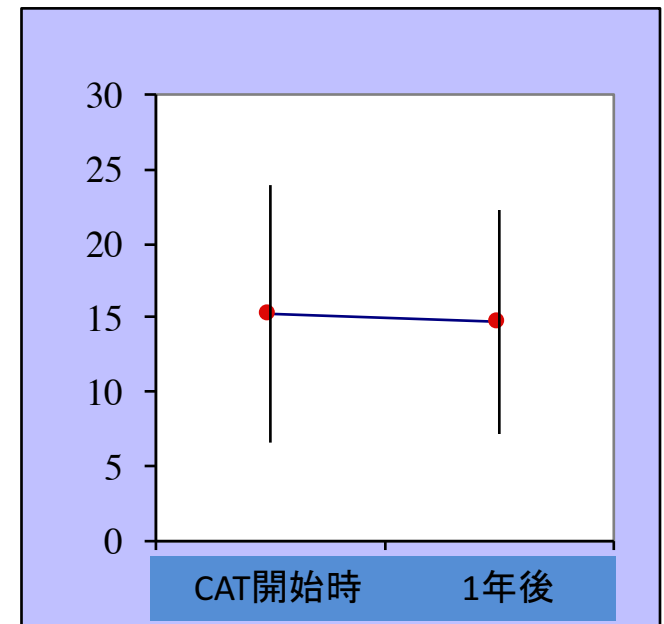
HOT群

- ステージ4
- ステージ3
- ステージ2
- ステージ1

非HOT群におけるCAT値の変化

	平均	標準偏差
CAT開始時	15.2	8.6
1年後	14.7	7.4

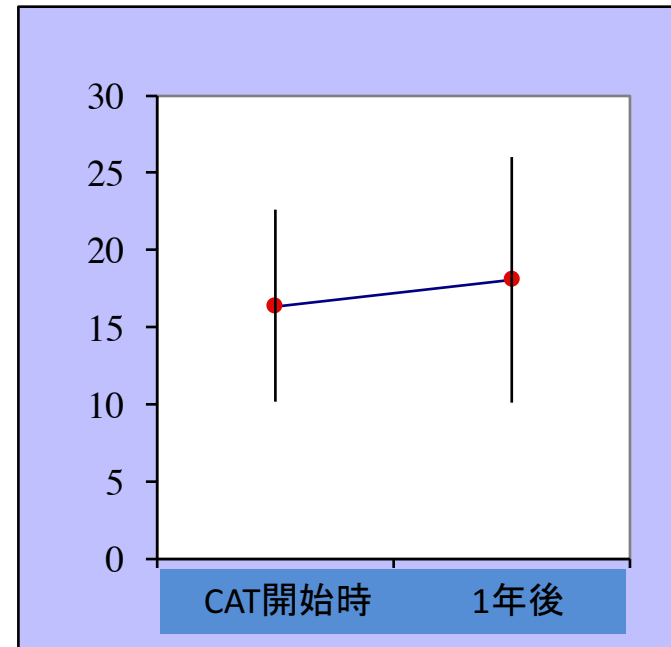
有意差なし



HOT群におけるCAT値の変化

	平均	標準偏差
CAT開始時	16.3	6.2
1年後	18.1	8.0

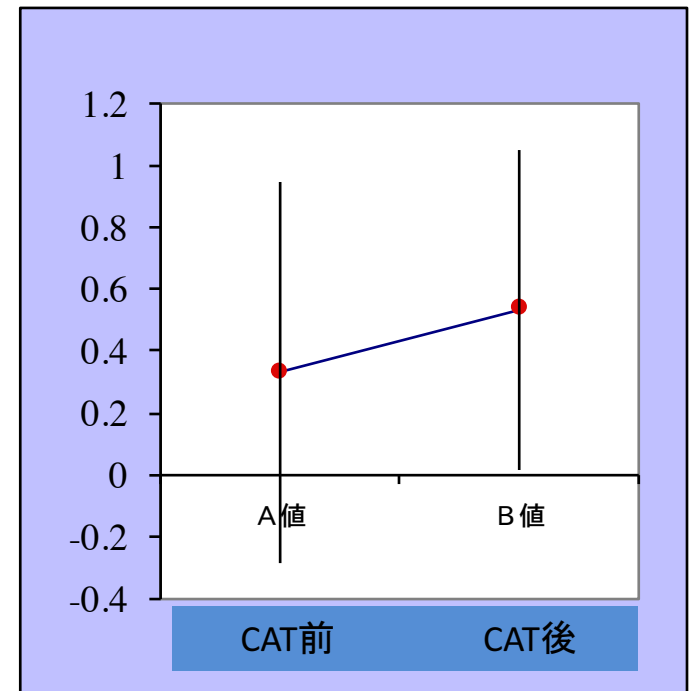
有意差なし



非HOT群における CAT開始前後の予定外受診回数

	平均	標準偏差
CAT前	0.33	0.61
CAT後	0.53	0.52

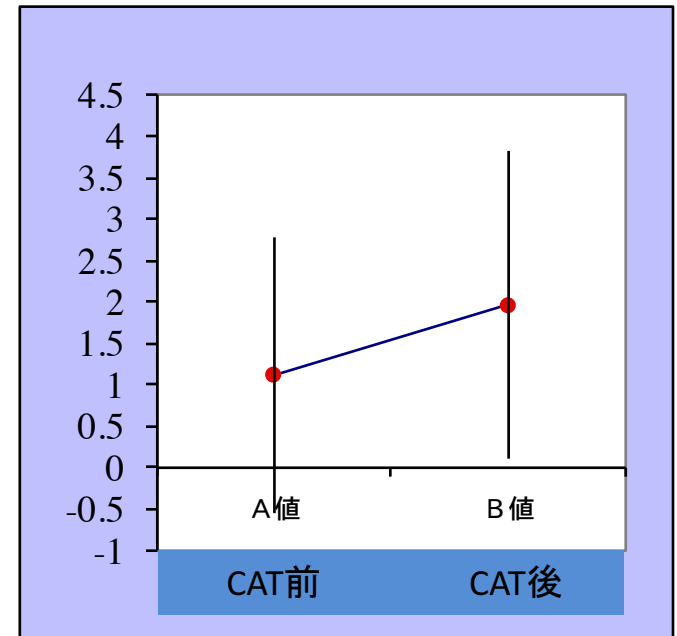
有意差なし



HOT群における CAT開始前後の予定外受診回数

	平均	標準偏差
CAT前	1.12	1.67
CAT後	1.97	1.85

$P < 0.01$



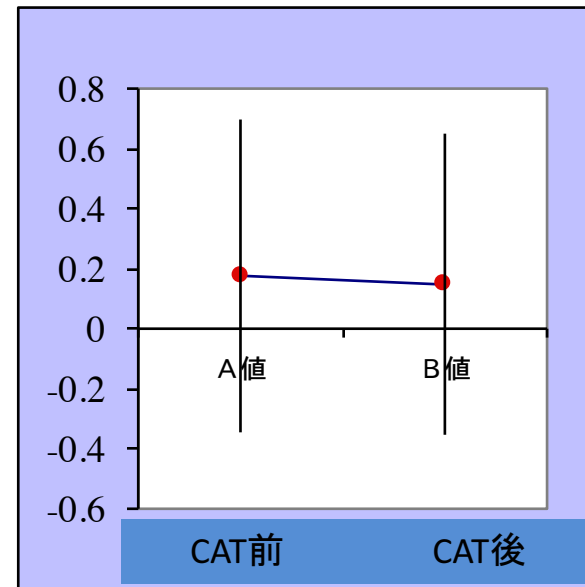
非HOT群における入院回数

CAT導入前後ともに入院無し

HOT群における CAT開始前後の入院回数

	平均(実数)	標準偏差
CAT前	0.18(6)	0.52
CAT後	0.15(5)	0.50

有意差なし



- CAT開始後に入院回数が増加した人4名、減少した人5名。
- のべ入院回数は1回減少。

結果

HOT群ではCAT開始後定期外受診の増えた人20名 減った人7名で平均1.12回/年から1.97回/年と定期外受診が増加した($p < 0.01$)。一方、CAT開始前に比べ、開始後1年間で入院が増えた人4名、減った人5名で延べ入院回数には有意差は認められなかったものの1回減少した。

非HOT群ではいずれにも有意差はなかった。

考 察

- 今回の調査においてはHOT群において予定外の外来受診回数が増加し、入院回数は減少した。
- これは外来受診毎にCATを活用することで、体調の確認や増悪時の対応を共に振り返ることができ、患者自身が普段の安定期の状態を把握し、増悪の際に早期に対応できるようになったためと思われる。
- CATはQOL評価のみでなく、患者に悪化を見逃さないことの重要性を認識させ、自己管理能力の向上にも有用である可能性が示唆された。